

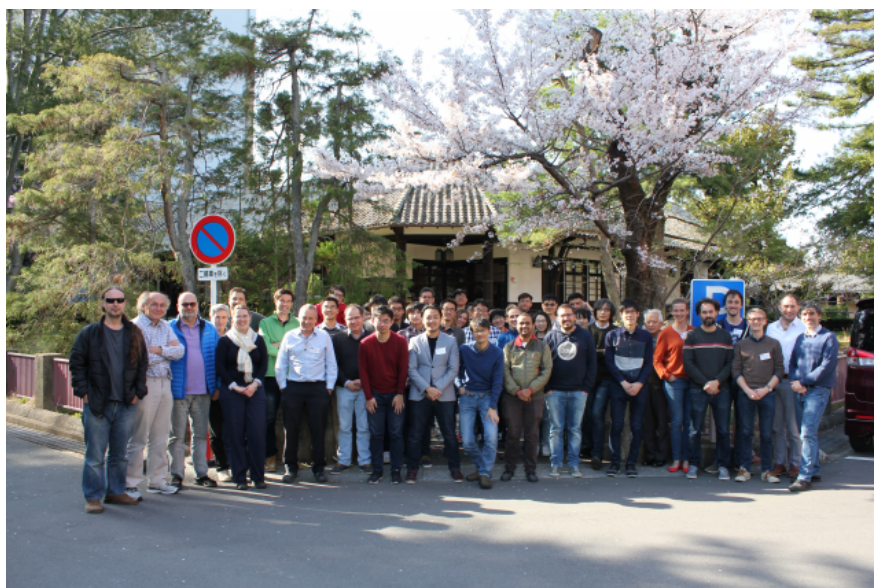
京都大学基礎物理学研究所での共同研究

理学系研究科物理学専攻博士課程 2 年
秋津一之

私は 2019 年 2 月 15 日から 2019 年 3 月 18 日まで京都大学基礎物理学研究所に滞在し、共同研究を実施した。基礎物理学研究所には樽家准教授、西道准教授を中心として観測的宇宙論の研究グループがあり、特に構造形成の摂動論の研究で世界的な成果を挙げている。滞在中は、樽家准教授と wide-angle 効果を考慮した赤方偏移空間 2 点相関関数に Super-sample mode と呼ばれる長波長ゆらぎが与える影響についてラグランジュ摂動論を用いた研究を開始した。さらに嵯峨博士研究員と予期しない形で背景重力波に関する新たな研究を開始することもでき、直接対面しての議論の重要性を実感した。

滞在中はランチセミナーや中間発表会などの場でこれまでの自分の研究について発表する機会もあり、普段はなかなかもらうことができない宇宙物理の他分野の研究者からのコメントをいただけたことは大変有意義であった。

今回の滞在を援助していただいた基礎物理学研究所、また滞在中面倒を見てくださった樽家准教授に深く感謝申し上げる。



滞在中に開催された国際会議での group photo